



イスターカーテン

取扱説明書

あけてんで 樹脂複合タイプ お客様保存版

この度は、TOKO「イスターカーテン あけてんで」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品を正しく安全にご使用いただくために、製品ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、いつでもお読みいただけるように、大切に保管してください。

目 次

- 1** 安全のために必ずお守りください……………P 2～5
- 2** 各部の名称……………P 6～7
- 3** 操作方法について……………P 8～14
 - 障子の開閉方法 ……………P 8
 - 障子を開くとき ……………P 8～9
 - 障子を閉じるとき ……………P 10～11
 - 室外側から障子进行操作するとき ……………P 12
 - キー付きグレモンハンドルの使い方 ……P 13
 - 面付錠の使い方 ……………P 13
 - ラッチの操作 ……………P 14
 - 豆知識 ……………P 15
- 4** 故障と思われる前に……………P 15
- 5** お手入れについて……………P 16～17
- 6** 修理依頼について……………P 17
- 7** 商品保証について……………P 18

販売店・工事店・建設会社様へ

この取扱説明書は、施工後、お施主様やご使用になる方へ必ずお渡しください。

1 安全のために必ずお守りください。

人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。
この取扱説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。
絵表示の内容をよく理解して本文をお読みください。

絵表示	意 味
	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が負傷するおそれや物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「必ず行っていただくこと」を示しています。



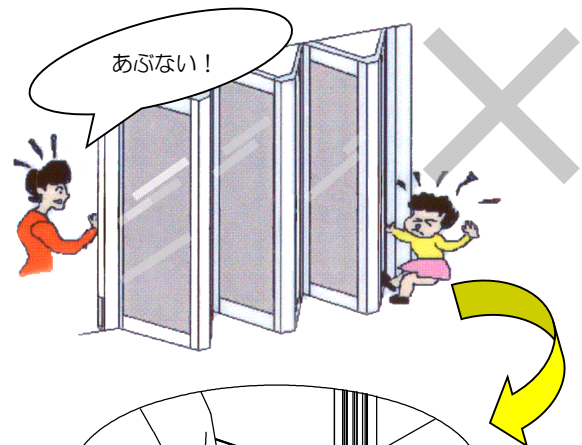
開閉操作する際は、周囲に人がいないこと、物がなことを必ず確認してください。特に障子が折り畳まれる吊元側周辺に、人がいないか確認してから操作してください。

また、障子を開閉する時は、障子と下枠の間に出来る三角のすき間に手や足をはさまないように注意してください。



三角のすき間

障子が折り畳まれる吊元側周辺



■開閉操作の支障となるおそれがあり、故障や衝突などによる人身事故の原因となります。



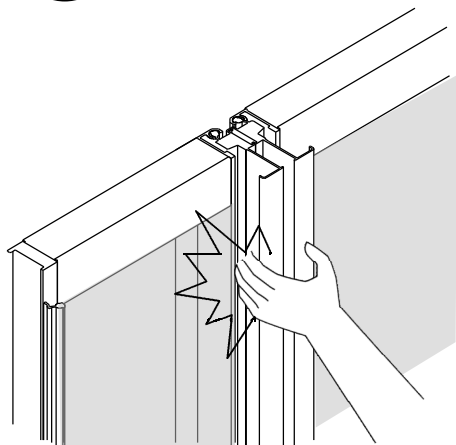
障子周辺で遊ばせないようにしてください。



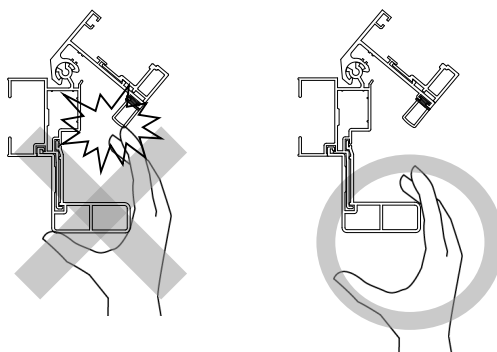
■製品の破損、衝突などによる人身事故発生のおそれがあります。特にお子様を周囲で遊ばせないように、また日常での開閉目的以外の操作をしないように注意してください。



障子を開閉する場合は、丁番部や障子の間に手を触れないでください。



■丁番や障子の間に手を入れていると、指がはさまるおそれがあり危険です。

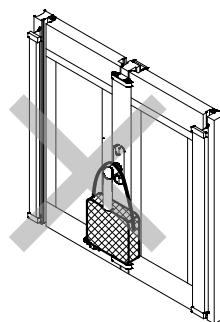


障子に寄り掛る、押す、ぶつかる等の行為はしないでください。
グレモンハンドルに物をかけたりしないでください。
また、第三者が当行為をしないよう注意してください。

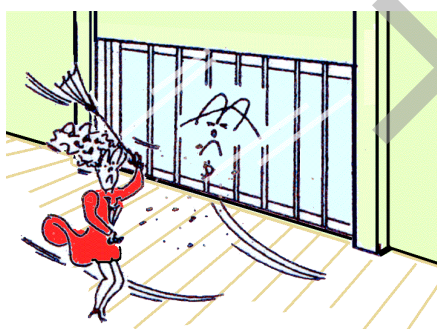


■ガラス等はめ込み材破損による事故発生のおそれがあります。

■グレモンハンドルが破損するおそれがあります。



風速 10m/s を越えるような強風下での開閉はおこなわないでください。



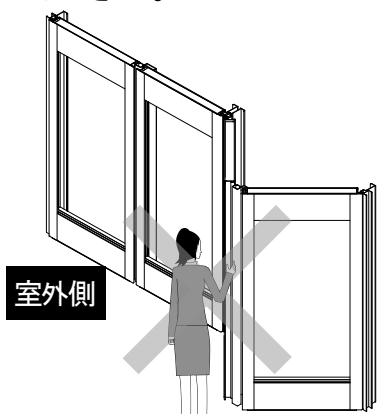
■障子があおられ、開閉に支障をきたすおそれがあります。

風速 10m/s 前後での風による影響のめやす

- ・衣服がばたつき、髪が乱される
- ・砂ぼこりが立つ
- ・葉の茂るかん木が揺れる



室外側から障子を閉じる際は、障子の折れた部分を持って操作しないでください。



■指を挟んでけがをするおそれがあります。
小さいお子様ですと、特に危険ですので、
十分ご注意ください。



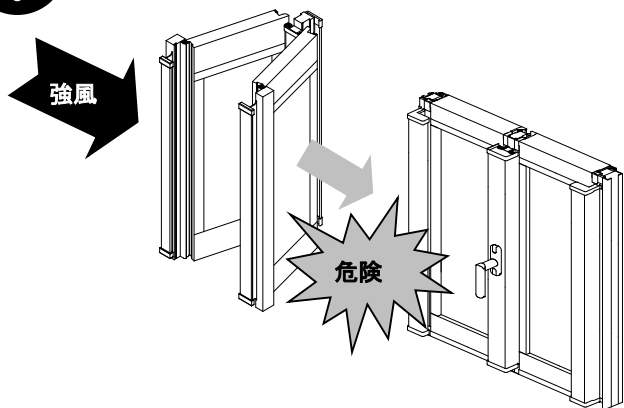
通行あるいは障子を開閉する際は、足元に注意してください。
また、第三者に対しましても、足元に注意する旨の配慮
をおこなってください。



■下レールのすき間で、つまずくおそれ
があります。



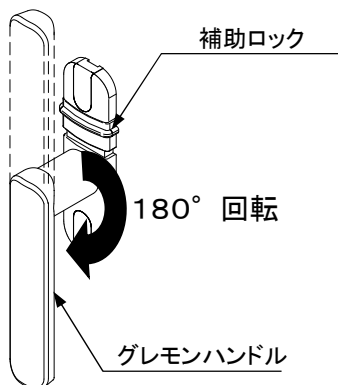
風の強い日は、障子を閉じて施錠してください。



■障子を開けたままにしていると強風で
障子が不意に閉じ、けがや製品の
破損のおそれがあります。

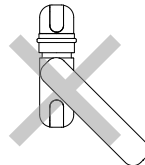
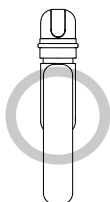


障子を閉めた時には、グレモンハンドルが下向きの状態であることを
確認してください。



■グレモンハンドルが確実に 180° 下向きに回転した
ことを確認してください。

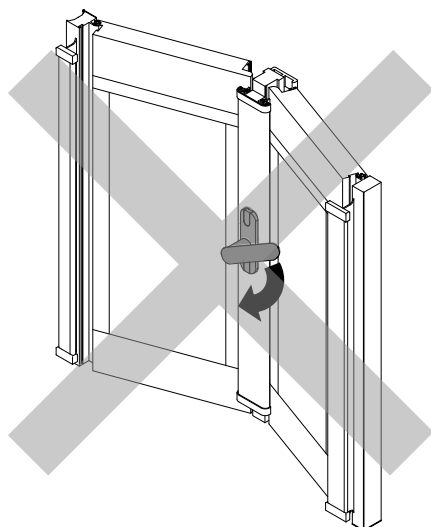
■補助ロックはグレモンハンドルが下向きの状態
でなければロックすることは出来ません。





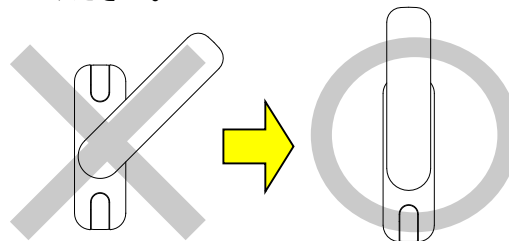
障子の開閉途中では、グレモンハンドルをまわさないでください。

○誤った操作（障子が開いた状態）

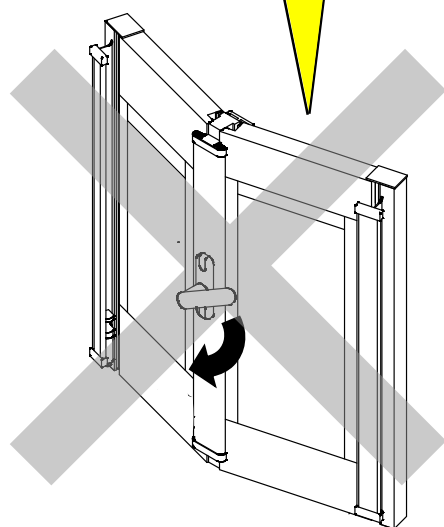


無理にまわすとグレモンハンドルが破損するおそれがあります。

もしも、障子が開いた状態でグレモンハンドルが斜めになっている場合は、グレモンハンドルを上向きにしてから障子の操作を行ってください。

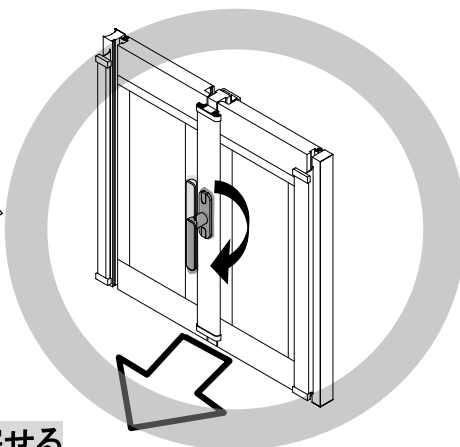


ガラス障子を引き寄せすぎた状態でも、絶対にグレモンハンドルをまわさないでください。



○正しい操作（障子を引き寄せた状態）

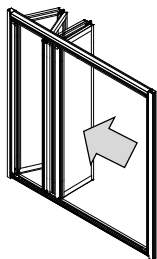
障子を引き寄せ、まっすぐの状態にしてから、グレモンハンドルを操作してください。



障子を引き寄せる

2 各部の名称

障子全閉図



■片引き

この製品は、それぞれの障子がすべて連結されており、図のように縦枠側から障子を開閉する仕様となっています。

□破線の囲い部は、ラッチ・ラッチストライクが取り付けられている箇所です

※注意ラベル

⚠ 注意

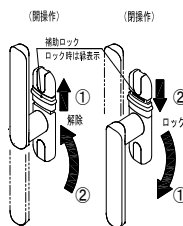
- ガラス障子の開閉が軽いため、半開状態では、風により動く場合があります。
- 開放時は、半開状態にせず全開状態で必ずキャッチをセットしてください。



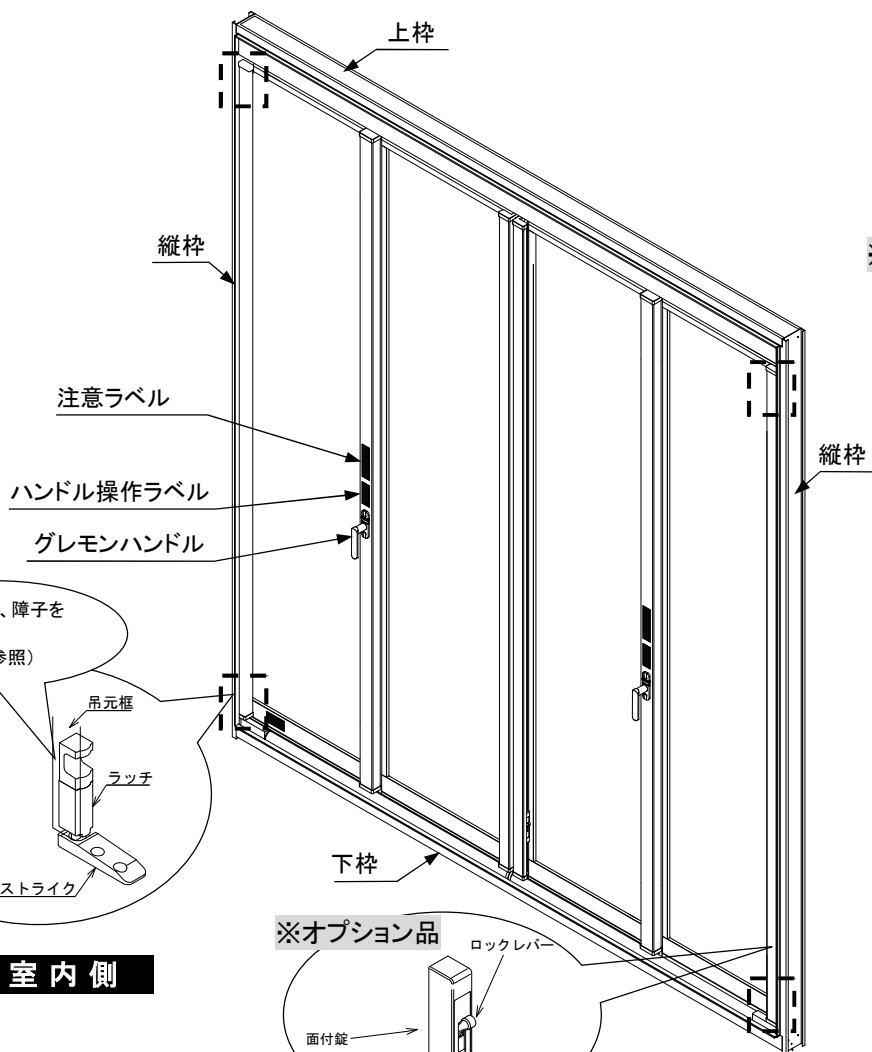
※ハンドル操作ラベル

ハンドルの操作について

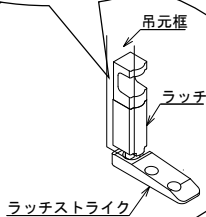
- ハンドルは障子がまっすぐな状態で確実に180°まわしてください。



- 障子を開ける際は補助ロックを解除してからハンドル操作してください。
- 障子を閉める際は必ずハンドルを持って閉めてください。
- 開閉途中の無理なハンドル操作はロック部品の破損をまねくおそれがありますのでおやめください。

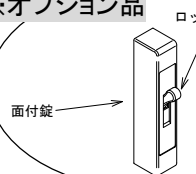


ラッチが入り、障子を固定します
(14ページ参照)



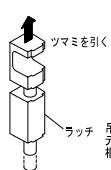
室内側

※オプション品



※ラッチ操作ラベル

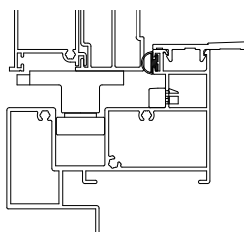
お掃除のとき



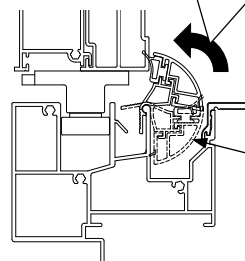
上下ラッチのツマミを引いたまま吊元框を縦枠からはずします

- お掃除が終わりましたら吊元框をもとに戻してください

ハンドルをまわすと回転材が起き上がり、雨風の侵入を防ぎます

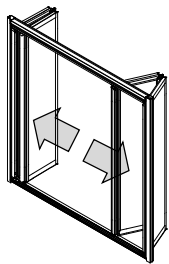


(段付き枠)



(フラット枠)

障子全閉図



■引分け

この製品は、それぞれの障子を図のように引分けることにより、開閉する仕様となっています。

□破線の囲い部は、ラッチ・ラッチストライクが取り付けられている箇所です

※注意ラベル

⚠ 注意

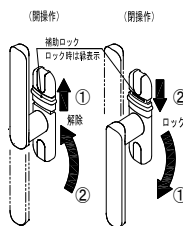
- ガラス障子の開閉が軽いので、半開状態では、風により動く場合があります。
- 開放時は、半開状態にせず全開状態で必ずキャッチをセットしてください。



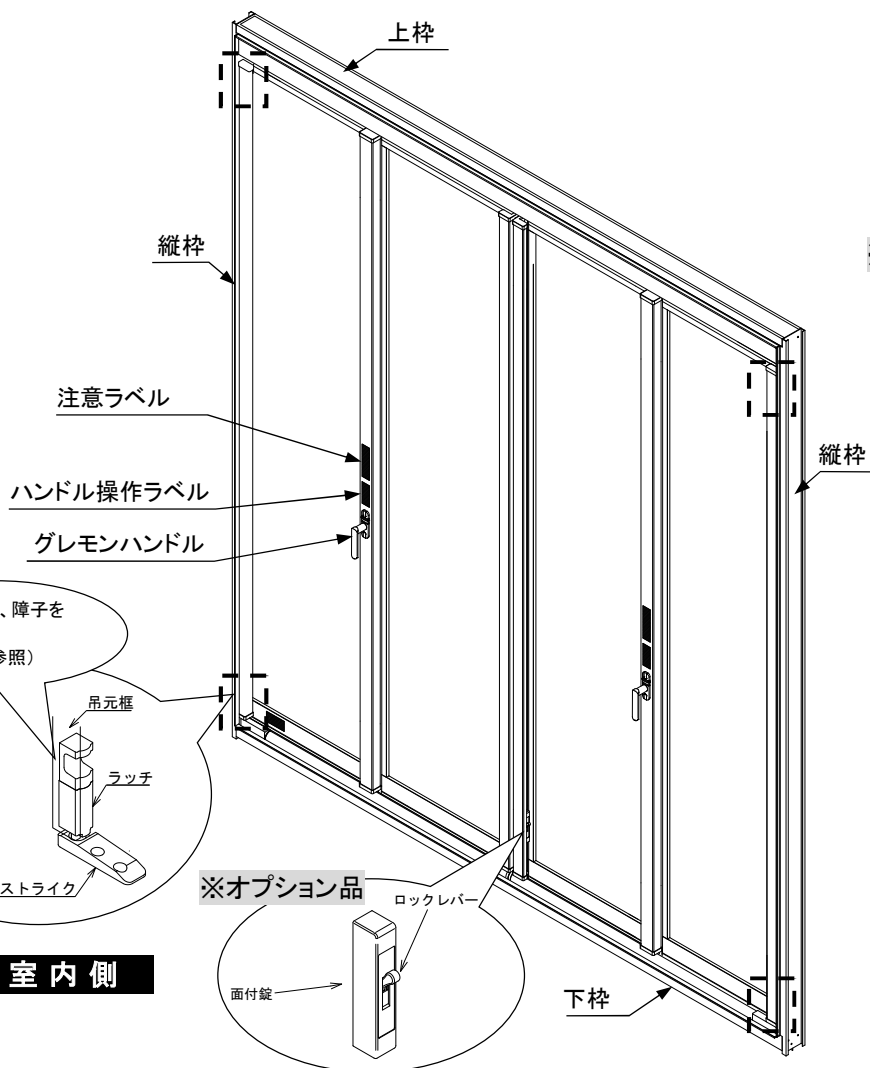
※ハンドル操作ラベル

ハンドルの操作について

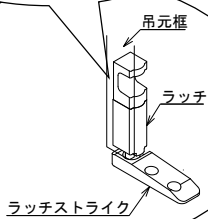
- ハンドルは障子がまっすぐな状態で確実に180°まわしてください。



- 障子を開ける際は補助ロックを解除してからハンドル操作してください。
- 障子を閉める際は必ずハンドルを持って閉めてください。
- 開閉途中の無理なハンドル操作はロック部品の破損をまねくおそれがありますのでおやめください。



ラッチが入り、障子を固定します
(14ページ参照)

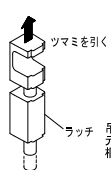


※オプション品

室内側

※ラッチ操作ラベル

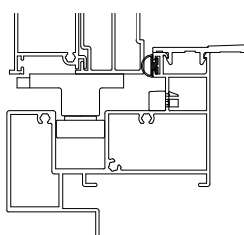
お掃除のとき



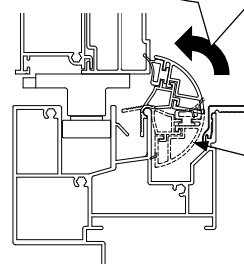
上下ラッチのツマミを引いたまま吊元框を縦枠からはずします

- お掃除が終わりましたら吊元框をもとに戻してください

ハンドルをまわすと回転材が起き上がり、雨風の侵入を防ぎます



(段付き枠)



(フラット枠)

3 操作方法について

■障子の開閉方法

- ・障子周辺に人がいないか、物はないか確認してください。
- ・グレモンハンドルは確実に操作してください。
- ・開閉はゆっくりおこなってください。乱暴に開閉しますと、開閉に支障をきたす事があります。
- ・開閉は引手框の取手部をもっておこなってください。丁番部には手をふれないでください。

■障子を開くとき

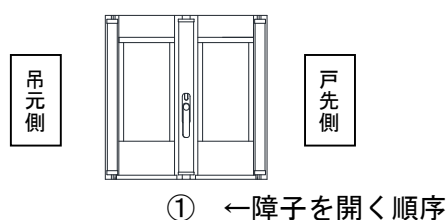
障子を開くときには、順序がありますので、必ず順序を守って操作をおこなってください。

(開くときの操作の詳細については9ページを参照してください。)

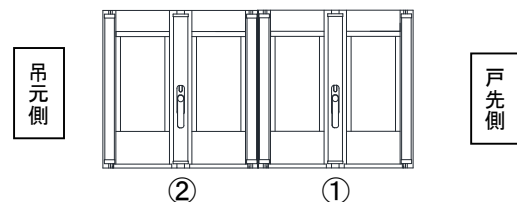
戸先側：障子を開いた際に開く側

吊元側：障子が折りたたまれる側

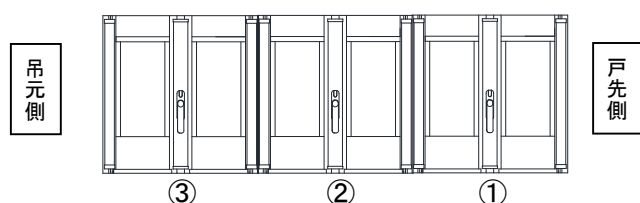
■パネル枚数 2 枚の場合



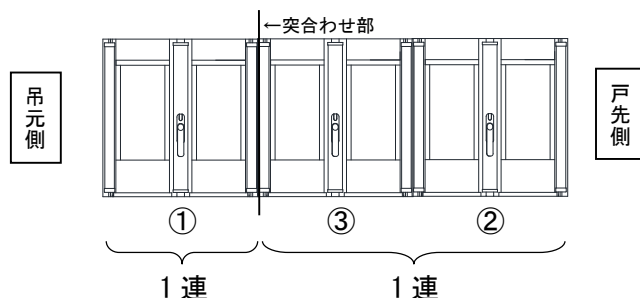
■パネル枚数 4 枚の場合



■パネル枚数 6 枚の場合

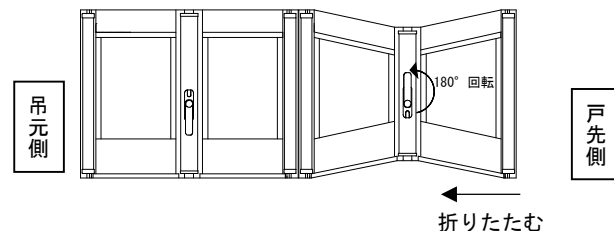


■パネル枚数 6 (2+4) 枚の場合

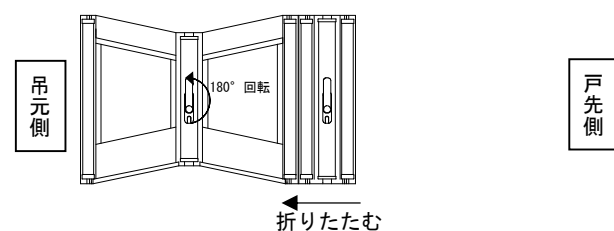


障子を開くときは図の順序を守り、必ず一連ずつ操作をおこなってください。(図中の突合わせ部にて扉が分割されています。)

1. ①のグレモンハンドルを操作し、障子を折りたたんでください。

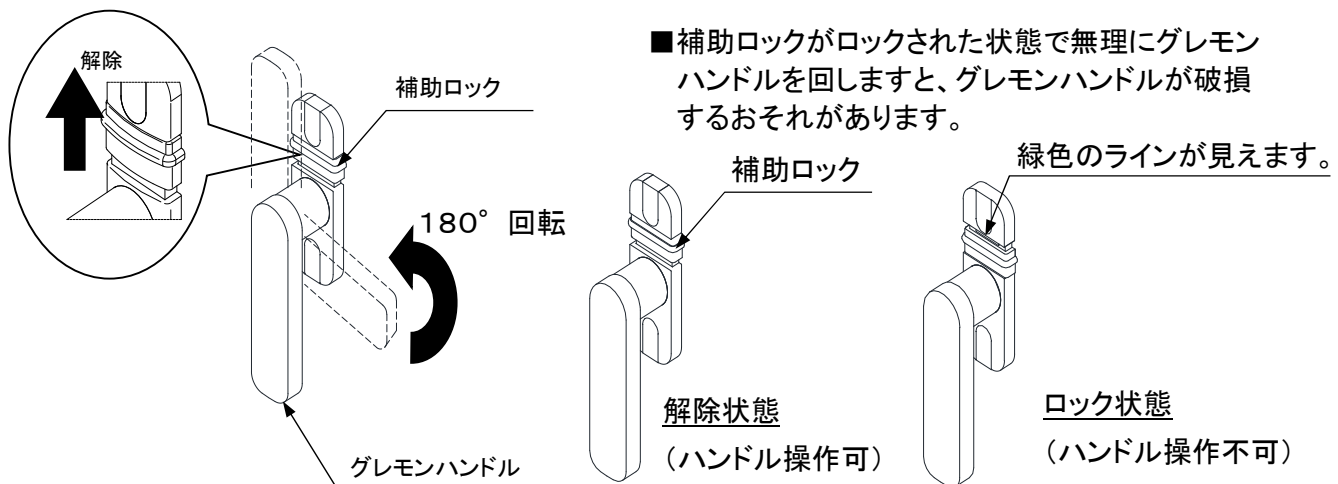


2. 次に②のグレモンハンドルを操作し、障子を折りたたんでください。

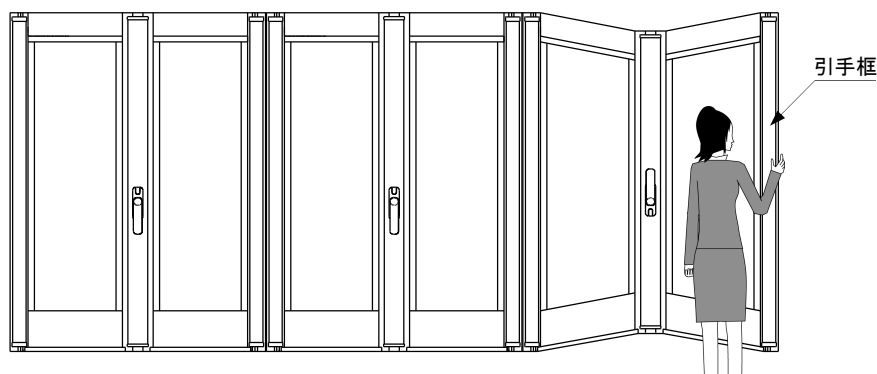


3. 以降、数字の順序で同様に障子を折りたたんでください

- ① 補助ロックを解除し、開ける障子のグレモンハンドルを反時計まわりに180°回転させ障子のロックを解除してください。

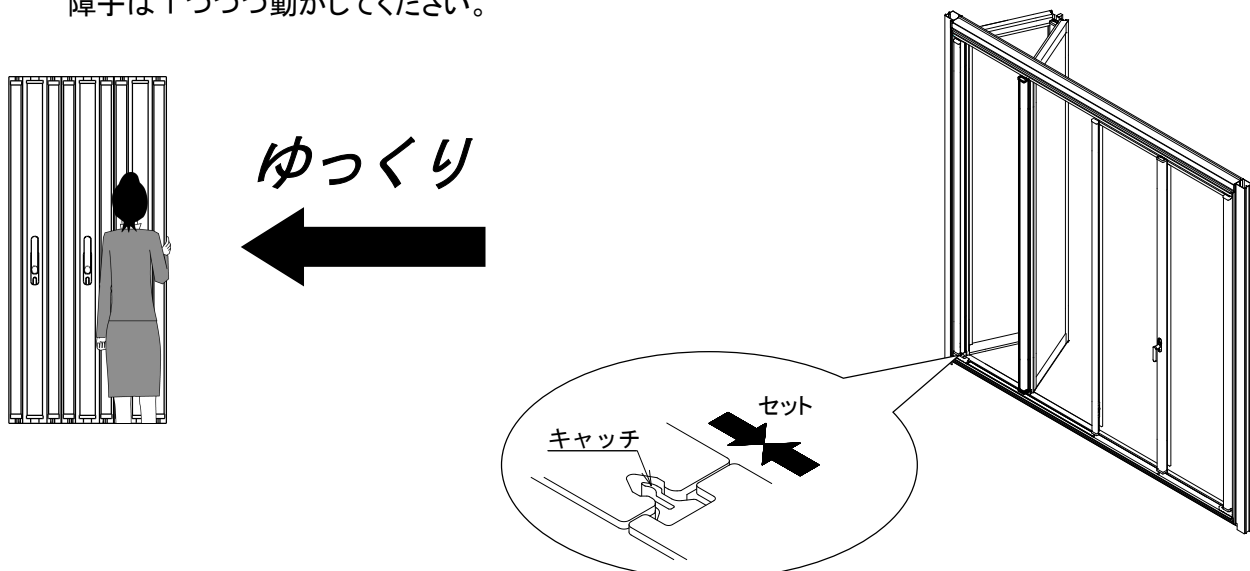


- ② グレモンハンドルを持って室外側に向かって軽く押し出してください。



- ③ グレモンハンドルから手を離し、引手框を持って開けてください。
障子が折りたたまれた際にキャッチがセットされたことを確認してください。

- ① 取手部以外を持っての開閉は、おやめください。
障子は1つずつ動かしてください。

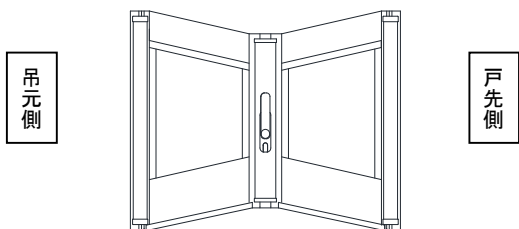


■障子を閉じるとき

障子を閉じる時には順序がありますので、必ず順序を守って操作をおこなってください。

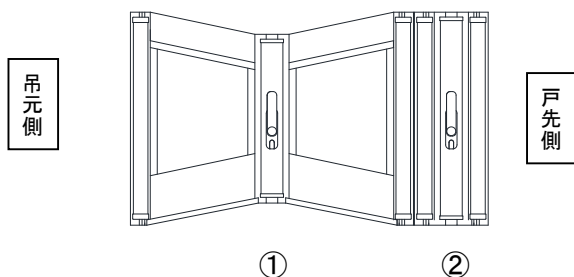
(操作の詳細については、11ページを参照してください。)

■パネル枚数 2 枚の場合

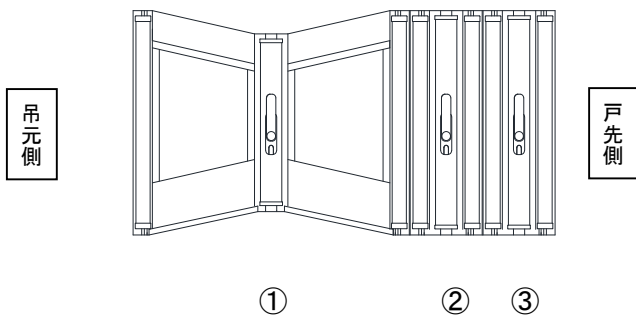


① ← 障子を閉じる順序

■パネル枚数 4 枚の場合

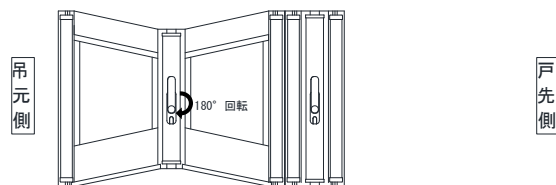


■パネル枚数 6 枚の場合

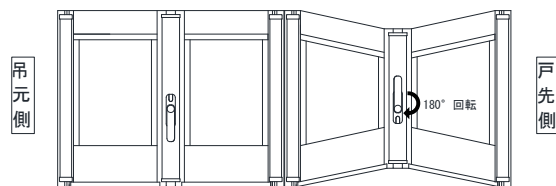


障子を閉じるときは図の順序を守り、必ず吊元から操作をおこなってください。

1. ①から障子を閉じ、グレモンハンドルを操作して、障子をロックしてください。



2. 次に②の障子を閉じ、グレモンハンドルを操作して、障子をロックしてください。



3. 以降、数字の順序で同様に障子をロックしてください。

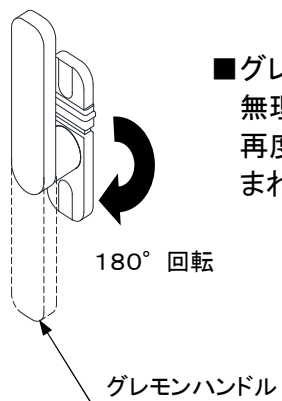
① 吊元側の障子から順に引手框を持って、障子を閉じます。

① 引手框以外を持っての開閉は、おやめください。
障子は1つつつ動かしてください。



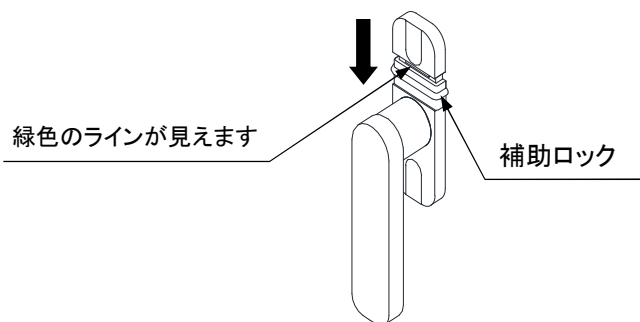
ゆっくり
→

② グレモンハンドルを持って障子を手前に引き、障子をまっすぐな状態にしてから、グレモンハンドルを時計回りに 180° 回転させて障子をロックします。



■グレモンハンドルが、まわらない場合は、無理にまわそうとせず、一度戻してから、再度、障子をまっすぐな状態にしてからまわしてください。

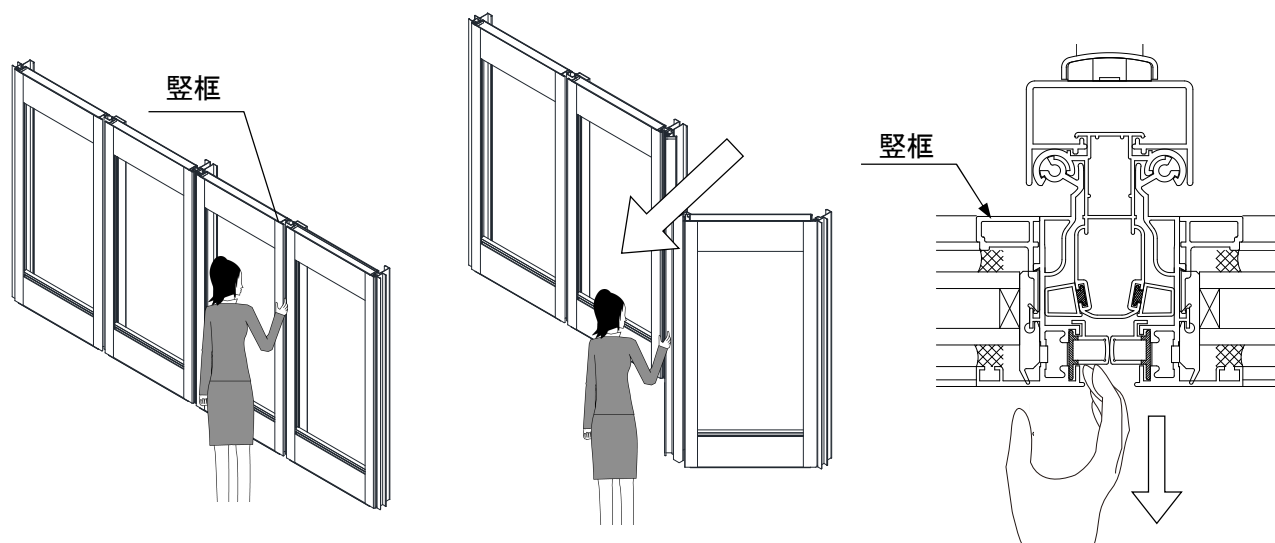
③ グレモンハンドルの補助ロックをロック状態にします。



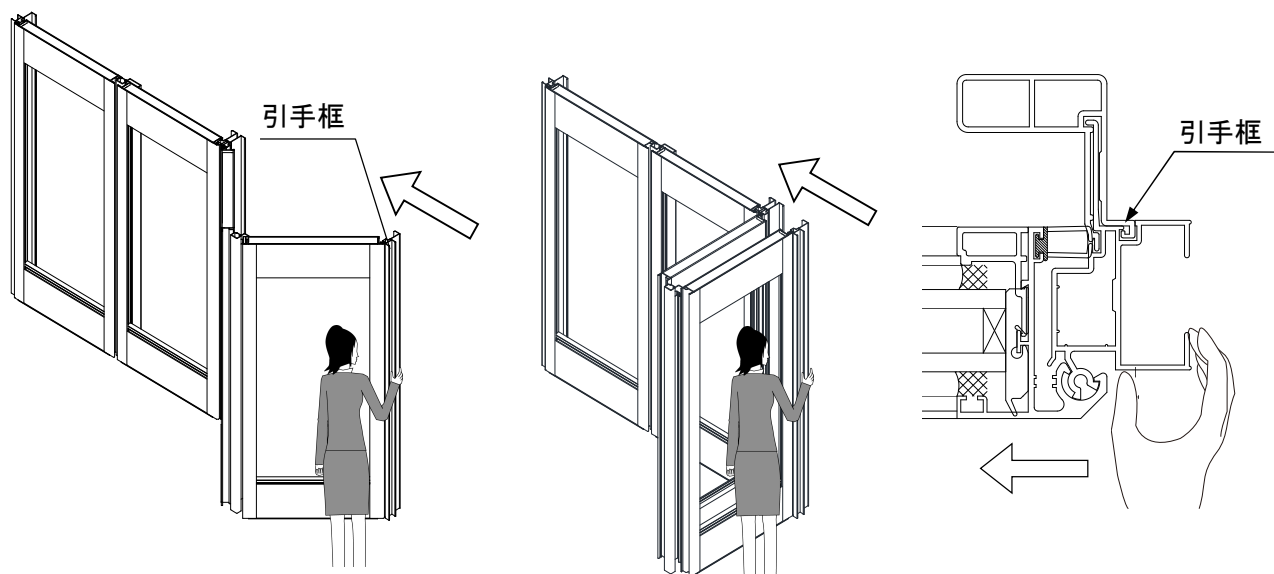
■ 室外側から障子を操作するとき

● 障子を開けるとき ※室内側のグレモンハンドルが解除されている場合

① 縦框に指をかけ、障子を手前に引き寄せてください。



② 引手框を持って、扉を開けてください。

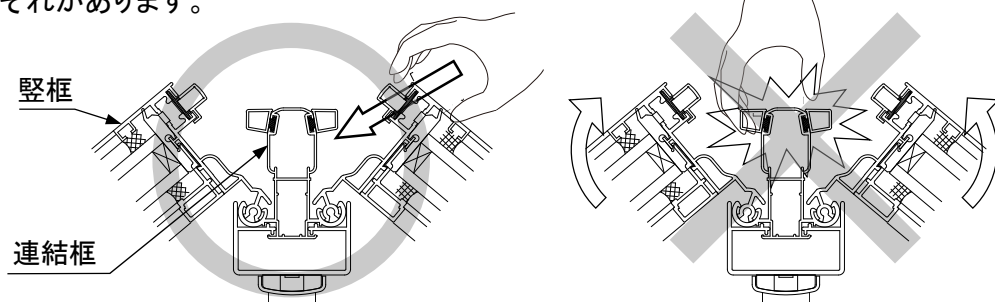


● 障子を閉じるとき

・ 縦框を手で押して障子を閉じてください。

① 外側から障子を閉じる際は、連結框を持たないでください。

■ 指を挟み、けがをするおそれがあります。



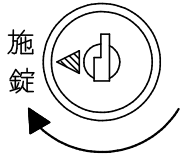
■キー付きグレモンハンドルの使い方

※仕様によっては取り付けしていない場合もあります。

❗ カギの操作は必ず障子を閉め、グレモンハンドルがロックされた状態で操作を行ってください。

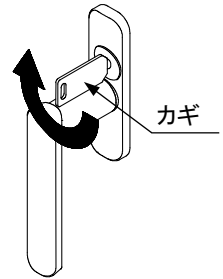
解錠状態 → 施錠の場合

- ①カギ穴にカギを差し込み時計まわりに180° 回転させてください。
グレモンハンドルが施錠されます。



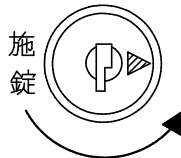
▲が施錠の位置に
くるまで、時計まわりに
180° 回転させる

■カギを閉めた状態での無理な
ハンドル操作は、ハンドルが
破損するおそれがあります。



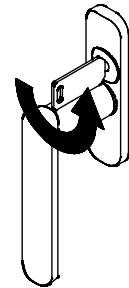
施錠状態 → 解錠の場合

- ①施錠されているグレモンハンドルのカギ穴にカギを差し込み反時計まわりに180°
回転させてください。グレモンハンドルが解錠されます。



反時計まわりに
180° 回転させる

■カギを確実に180° 回転して
いない状態での無理なハンドル
操作は、ハンドルが破損する
おそれがあります。



■面付錠の使い方

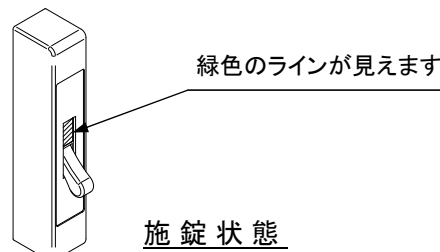
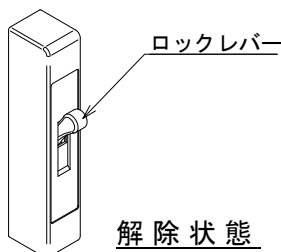
※仕様によっては取り付けしていない場合もあります。

❗ 必ず障子を閉め、グレモンハンドルがロックされた状態で操作を行ってください。

施錠：障子を閉めた状態で面付錠のロックレバーを下げると施錠されます。

解錠：面付錠のロックレバーを上げると解錠されます。

■面付錠が施錠された状態で、無理に障子を開けようとすると面付錠が破損するおそれがあります。
また、面付錠は施錠の補助部品であるため、面付錠のみでのロックはおやめください。



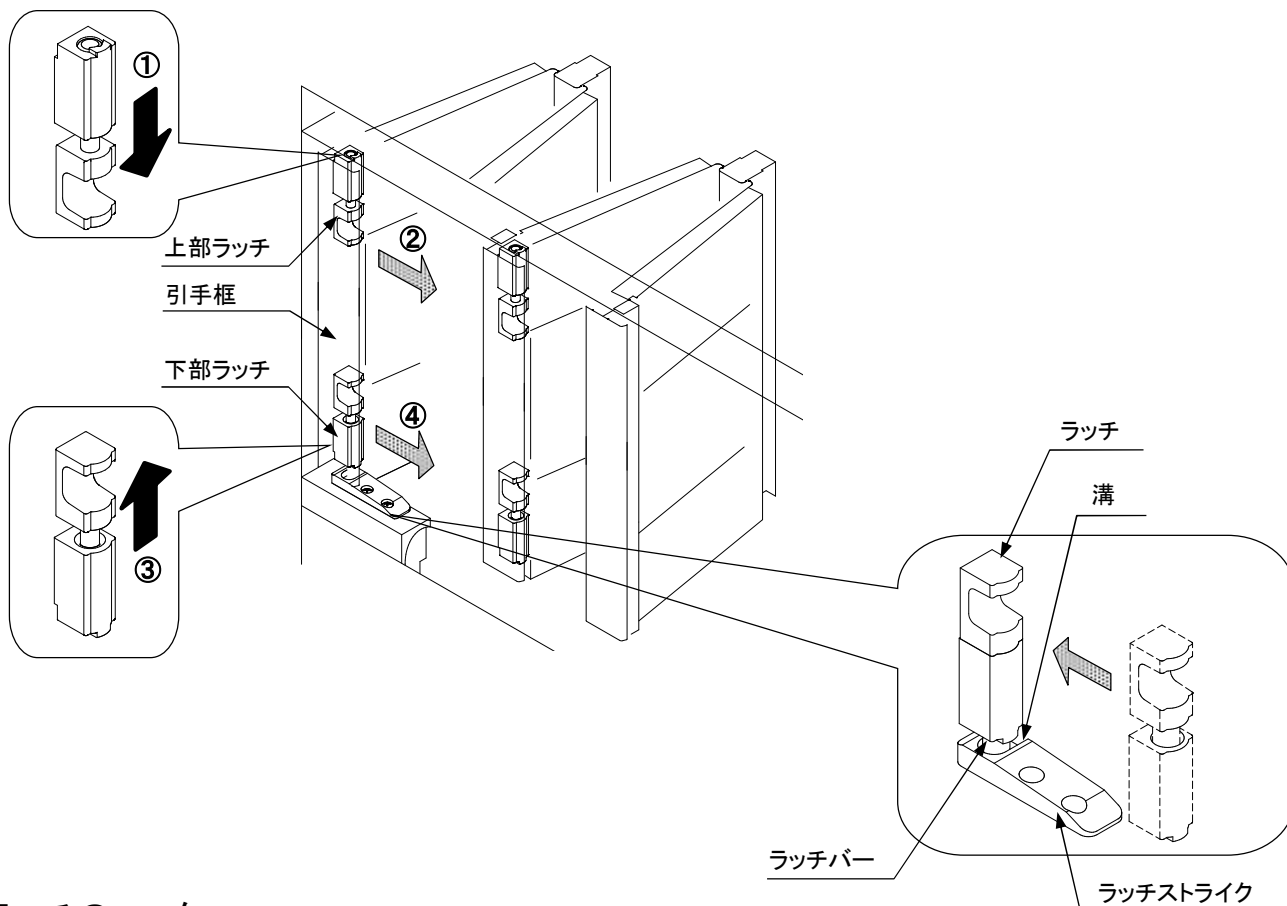
■ラッチの操作

ラッチを解除しながら障子を縦枠から引き出すことにより、障子を移動させることができ、下枠の両隅部に溜まったゴミ・汚れを除去・お掃除することができます。

ラッチの解除

○上・下のラッチのツマミを引くとラッチは解除され、引手框がラッチストライクから離れます。

- ① 下部ラッチのツマミ部分を引きます。
- ② ①の状態、引手框の下方を引きます。
- ③ 引手框が、縦枠から離れたら、上部ラッチのツマミ部分を引きます。
- ④ ③の状態、引手框の上方を引くことで、ラッチストライクから離れ、障子を移動させることができます。



ラッチのロック

○移動した障子を閉じるときは、引手框を縦枠に戻してください。

ラッチは自動的に納まり、ロックされます。

このとき、ラッチバーが溝に入ったことを確認してください。

お願い

ラッチがラッチストライクに入りにくい場合は、すべてのガラス障子を閉じれば、自動的にラッチストライクに入ります。ラッチストライクの溝にゴミが溜まりますと、ラッチが入りにくくなる場合がありますので、お掃除の際はラッチストライクの溝も清掃を行ってください。

■豆知識

結露について

○このサッシは、室内側に断熱性の高い樹脂を使用した「断熱サッシ」です。

一般のアルミサッシと比較して結露の発生は抑えられますが窓ガラスやサッシ部分の結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生します。

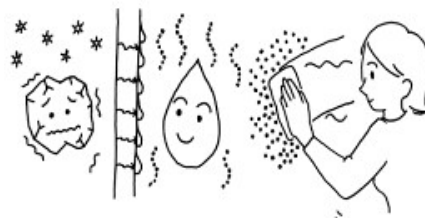
○結露が発生した場合、床や壁の汚損防止・木部の腐食防止のために、十分に拭きとってください。

一般には、秋冬の季節は暖房により結露が一層発生しやすく、乾燥防止のために加湿機をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。

特に新築の家には使用した木材などの建材に水分が含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期にその水分が放出されやすい室内環境になり、結露が発生しやすくなります。

結露をできるだけ抑える方法として、

- ① こまめに換気して室内の水分を含んだ空気を排出すること
 - ② 室内で洗濯物を干さないこと
 - ③ 灯油ストーブの上で湯をわかさないこと
- などを心がけてください。



4 故障と思われる前に

ご使用中に万一異常がありましたら、まず次のことをお確かめください。

こんなとき	ここをお確かめください
グレモンハンドルがまわらない	グレモンハンドルの補助ロックがロック状態になっていませんか。 → 補助ロックを解除してから、グレモンハンドルを再度まわしてください。(9ページ)
	キー付きグレモンハンドルのカギが施錠されていませんか。 → キー付きグレモンハンドルのカギを解錠状態にしてください。(13ページ)
障子が開かない	グレモンハンドルが下向きになっていませんか。 → グレモンハンドルを確実に180° 回転させ、上向きの状態にしてから障子を(9ページ)
	面付錠が施錠された状態(ロックレバーが下向きの状態)になっていませんか。 → 障子を閉めた状態で、面付錠のロックレバーを上げ、解錠してください。(13ページ)
障子が完全に閉じない	下枠内に石などが入っていませんか。 → 下枠内に石や物がないことを確かめてから開閉してください。(16ページ)
	障子が完全に閉じていない状態でグレモンハンドルをまわしていませんか。 → 障子をまっすぐな状態のまま、グレモンハンドルを下向きにまわしてください。(11ページ)
	障子を閉じるとき、グレモンハンドルが下向きの状態になっていませんか。 → グレモンハンドルを180° 回転させ、上向きの状態にし、その状態で障子をまっすぐにしてからグレモンハンドルを180° 回転させ、閉じてください。(9ページ)
	面付錠が施錠された状態(ロックレバーが下向きの状態)になっていませんか。 → 面付錠のロックレバーを上げ、障子を閉じてください。(13ページ)

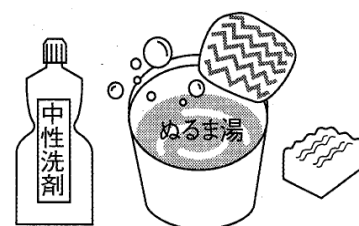
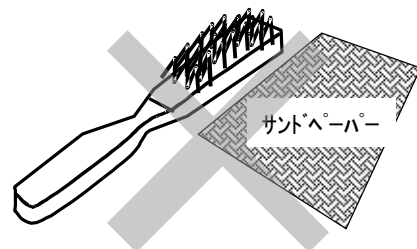
5 お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、シミや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。

清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸近くや交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

1. アルミニウム合金製部材

- 汚れは、柔らかな布、スポンジなどに水を含ませたものを使用し、洗い落としてください。金属タワシ、サンドペーパーやワイヤーブラシなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。
- 水洗いで取れない汚れなどは、食器用中性洗剤で洗い落としてください。有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤や
- アルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。



2. レール溝のお手入れ

レール溝に大きなゴミ等がつかまりますと、開閉操作のトラブルや、排水溝の詰まりの原因となりますので、定期的に溝部の清掃をお願いします。

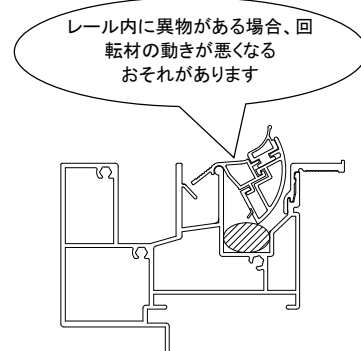
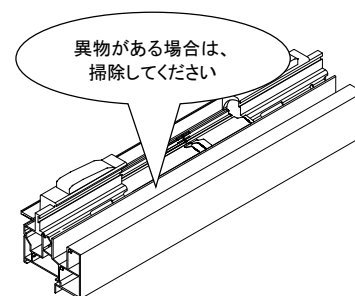
■ フラット枠の場合

回転材を取り外した溝部に異物があった場合、回転材が動かないといった不具合が発生する可能性があるため、異物に気づかれた際には、溝部を都度、清掃するようにしてください。

その際には、取り外した回転材も清掃するようにしてください。



- ① 回転材を取り外します。(17ページ)
- ② 掃除機やハケで、砂やほこり、異物をていねいに取り除きます。
- ③ 水でぬらした柔らかい布で、全体の汚れを拭き取ります。
※溝部などは割りばしの先などに柔らかい布を巻き付けて、拭き取ります。
- ④ 中性洗剤をうすめた液を含ませた柔らかい布で拭き、汚れを落とします。
- ⑤ 水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を拭き取ります。
- ⑥ 乾いた柔らかい布で水分を拭き取ります。
- ⑦ 回転材を取り付けます。(17ページ)



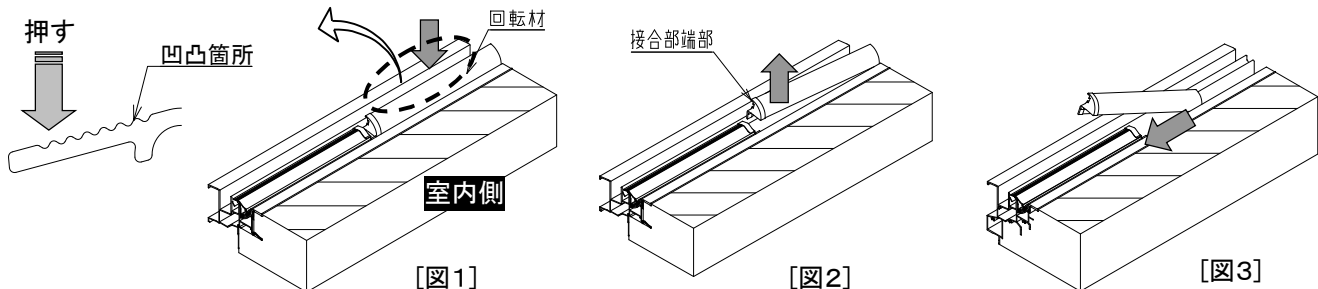
■回転材の脱着方法

【回転材の取り外し】※室内から見て右側から外してください。

- ① ガラス障子をすべて開きます。
- ② 回転材の凹凸になっている箇所を指で押し、回転材を起こします。(図1参照)
- ③ 回転材の接合部端部を少し上に持ち上げます。(図2参照)
- ④ 枠中央側にスライドさせながら回転材を取り外します。(図3参照)

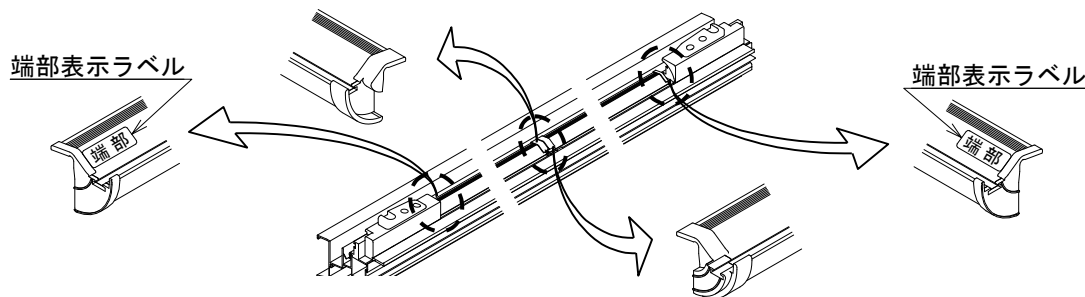
※真上に取り外そうとすると、ガラス障子にあたり、回転材が破損するおそれがあります。

- ⑤ 残りの回転材も②～④の要領で取り外します。



【回転材の取り付け】※室内から見て左側から取り付けてください。

お願い 回転材には左右が決まっています。
取り付ける際は、端部表示ラベルが貼ってある方をサッシの両端になるように取り付けてください。



6 修理依頼について

■修理にあたっては、次のことをお知らせください。

・商品名・購入年月日・購入先・破損箇所や不具合状況(例)開閉出来ない、ガラスの破損

■修理依頼先

商 品 名	
購入年月日	年 月 日
購 入 先	
	☎() -
備 考	

本取扱説明書は、紛失または汚損した場合は、再発行いたします。

お気軽に購入先へご連絡ください。

7 商品保証について

イスターカーテンに関する商品保証の内容は次のようになっています。

本書は、当社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）

が発生した場合には、お取り扱いの工事店、建設会社、販売店又は当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

（注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時にサッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり、不具合ではありません。

不具合といえる雨水侵入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
- ③ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合
- ⑤ 商品周辺の自然環境、住環境等に起因する結露、腐食又はその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑦ 引き渡し当時、実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑨ 引き渡し後の操作誤り又は適切な維持管理をおこなわなかったことによる不具合
- ⑩ お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑪ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑫ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

次のような消耗部品は有料となります。

気密材、樹脂キャップ、戸車、操作ツマミ、開閉補助部品、クッション材などの合成樹脂部品

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの工事店、建設会社、販売店又は最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

第1版

2026年3月発行



株式会社 TOKO

〒916-0062 福井県鯖江市熊田町 1-100

TEL(0778)62-1122

本社・工場 〒916-0062
東京支店 〒101-0041
仙台営業所 〒984-0056
名古屋支店 〒463-0088
大阪支店 〒564-0053
福岡営業所 〒818-0059
大分営業所 〒870-1118

福井県鯖江市熊田町 1-100
東京都千代田区神田須田町 2-5-2(須田町佐志田ビル 7F)
宮城県仙台市若林区成田町 16-2(ロイヤルヒルズ成田町 104)
愛知県名古屋市守山区鳥神町 238
大阪府吹田市江の木町 20-23
福岡県筑紫野市塔原東 4-15-14(オフィスパレス筑紫野ⅦB 棟 2号室)
大分県大分市高江南 2-2-1

TEL(0778)62-1122 FAX(0778)62-2234
TEL(03)3842-1778 FAX(03)3842-1779
TEL(022)395-7471 FAX(022)395-7472
TEL(052)778-7900 FAX(052)778-7910
TEL(06)6155-5220 FAX(06)6155-5221
TEL(092)918-6881 FAX(092)918-6885
TEL(097)547-8814 FAX(097)547-8817



ネットワーク詳細は
こちら